|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 打　合　せ　記　録　簿 | | | | | | | | | | | |
| 業務名称 | 令和６年度環境影響評価技術手法調査業務 | | | | | | | | | | |
| 発注者側 | 総括調査員 | 主任調査員 | 調査員 | 受注者側 | | 管理技術者 | | 主任担当  技術者 | | 担当技術者 | |
| 印 | 印 | 印 | 印 | | 印 | | 印 | |
|
| 打合せ者 | 発注者側 | 環境省:高木(審査官) | | 打　ち　合　わ　せ　日　時　・　場　所 | | | | | | | |
| 令和7年3月17日(月)17:15～17:45  ＷＥＢ会議 | | | | | | | |
| 受注者側  （プレック研究所） | 辻阪（管理技術者）  山田（担当技術者）  浦郷（有限会社レイヴン） | | 打　ち　合　わ　せ　方　式 | | | | | | | |
| □直接 | ■WEB | | □ＴＥＬ | | □FAX | | □メール |
| 打 合 せ 内 容 | | | | | | | | | | | |
| ■打合せ資料  ・（受注者から）R6報告書構成案  ■打合せ記録  １．3月7日提出の報告書構成案について（環境省よりの意見）  ・２．（１）ア．収集・整理対象としたガイドラインにおいては、ガイドラインの概要は不要、大枠で国ごとに分類するなどして列記するのみでよい。  ・収集したガイドラインについては、概要とあわせて原本を資料編に集約しておいてほしい。  ・ガイドラインの個票は資料編でよい。  ・ガイドラインの整理結果のまとめは概略的な記述だけではなく、個々のガイドラインの記載内容の特徴を具体的に補完してほしい。  ・（プレック）収集したガイドラインはボリュームが多いため、業務報告書資料編とは別に、電子データとしてCD-Rにまとめて収録する予定でいる。  ・（環境省）了解した。  ２．有識者ヒアリングについて  ・（プレック）19日の石濱氏のヒアリング資料は、基本的に本日の久保田先生の資料と同じものを用いる予定だが、それでよいか。  ・（環境省）同じものでよい。  ・（プレック）石濱氏には速やかに資料を送付する。また、景観の有識者は荒井先生（東京農業大学）に了解をいただき、3月24日13時からで決定した。資料は別途作成し、予め環境省にご確認いただく。  以上 | | | | | | | | | | | |